

入学年度	学部	学科	組	番号	検	フリガナ
						氏名

1 行列 P, Q, R, S を次のようにおく. これらの組み合わせのうち, 積が定義できる場合すべてについて, その積を計算せよ.

$$P = \begin{pmatrix} -2 & 1 & -1 \end{pmatrix}, \quad Q = \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 2 & -1 \\ -1 & 2 \end{pmatrix}, \quad R = \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ 2 \end{pmatrix}, \quad S = \begin{pmatrix} 3 & -2 & 1 \\ -2 & 1 & -1 \end{pmatrix}$$

一般に点 (x, y) を点 (x', y') に移す移動が a, b, c, d を定数として

$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases}$$

と表せるとき, この移動を 1 次変換といい, f, g などの記号を用いて表す. 上の式は, 行列を用いると, 次のように表される.

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

上の式の 1 次変換を f で表すとき, f を行列 $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ の表す 1 次変換, $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ を 1 次変換 f を表す行列という.

1 次変換 f によって, 点 (x, y) が点 (x', y') に移るとき, 点 (x', y') を f による点 (x, y) の像という.

2 2つの 1 次変換 f, g を表す行列をそれぞれ $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}, B = \begin{pmatrix} t & u \\ v & w \end{pmatrix}$ とする. 1 次変換 f によって点 $P(x, y)$ が点 $P'(x', y')$ に移り, さらに, 1 次変換 g によって点 $P'(x', y')$ が点 $P''(x'', y'')$ に移るとする. すなわち, 次が成り立っているとす.

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} x'' \\ y'' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} t & u \\ v & w \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix}$$

このとき, 1 次変換 f と g を続けて行う変換は, また 1 次変換になることを示し, その行列を求めよ. また, その行列が行列 A, B の積 BA に等しいことを示せ. [この 1 次変換を f と g の合成変換といい, $g \circ f$ で表す.]

3 a) $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$, $B = \begin{pmatrix} d & -b \\ -c & a \end{pmatrix}$ とする. AB および BA を求めよ.

c) $A = \begin{pmatrix} 2 & -5 \\ 3 & 4 \end{pmatrix}$ とする. $PA = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$ となる行列 $P = \begin{pmatrix} p & q \\ r & s \end{pmatrix}$ を求めよ.

b) $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ とする. a) を利用して $ad - bc \neq 0$ のとき $PA = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$ となる行列 $P = \begin{pmatrix} p & q \\ r & s \end{pmatrix}$ を求めよ. また, このとき $AP = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$ となることを確かめよ.

d) $\begin{pmatrix} 2 & -5 \\ 3 & 4 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -1 \\ 2 \end{pmatrix}$ の両辺に b) で求めた P を左から掛けることにより, $\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$ を求めよ.

e) $\begin{cases} 2x - 5y = -2 \\ 3x + 4y = 3 \end{cases}$ を解け.